

八尾市学校給食献立コンテストの最優秀賞献立を食す！

全国学校給食週間(1月24日～30日)

明治22(1889)年、現在の山形県鶴岡市で弁当を持ってこれない子どものためにおにぎり
と簡単なおかずを出したことが学校給食の始まりです。その後、第二次世界大戦で中断されて
いましたが、昭和21(1946)年12月24日に再開されました。現在この日は給食がないので、
1ヶ月後の1月24日から1週間は全国学校給食としています。

学校給食には、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重
要な役割があります。学校給食週間で学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高め
るようにしています。

八尾市では全国学校給食週間がある1月に大阪の郷土料理や昔の献立などを取り入れて、
給食の歴史や大切さを知る機会となるようにしています。

八尾市教育委員会発行「小学校給食献立表(令和8年1月分)」より

八尾市学校給食献立コンテストで入賞した本校の児
童2名が考えた献立は、亀井小学校のみですすでに提供
済。さらに、1月28日(水)には、最優秀賞をとった献
立が、八尾市公立小学校すべての給食に登場しました。

- ・酒と小松菜の冬野菜たっぷり和風シチュー
- ・根菜の甘酢揚げ
- ・カブの葉とじゃこのふりかけ
- ・ごはん(八尾産米ひのひかり) ・牛乳



これが、応募1982点の頂点に立った献立です。毎年八尾市では市内の6年生を対象に献立コ
ンテストを実施しています。来年度は、今の5年生がチャレンジします。旬のものを使い、この
時期に合った最高のメニューを考えてみてはいかがでしょうか？ 自分の考えた献立が給食になっ
て登場するなんて、素敵ですね。

全国学校給食週間中には、“昔の献立”なるものも登場しました。「くじら」と「揚げパン」が
それにあたります。
私が子どものころの
給食って、本当にく
じらや揚げパンがた
くさん登場していた
と記憶しています。

保護者の皆様、そ
うでしたよね？



くじらのノルウェー風



揚げパン